

平成21年12月9日

報道関係各位
プレスリリース資料

BTD STUDIO株式会社

ITC経済・地域活性化基盤確立事業(ユビキタス特区事業) 「ユビキタス慢性疾患サポートセンター」プロジェクトの実施について

BTD STUDIO株式会社(本社:東京都港区 代表取締役:中村 創)は、日本電信電話株式会社、株式会社日立コンサルティングと共同で、総務省よりITC経済・地域活性化基盤確立事業(ユビキタス特区事業)「ユビキタス慢性疾患サポートセンター」プロジェクトの委託を受け、平成21年11月2日よりシステムの開発並びに福島県白河市をフィールドに実地検証を行います。

1. 本プロジェクトの背景

医療制度改革では、利用者の視点に立った効率的で、安心かつ質の高い医療の提供が目標として掲げられ、IT化や医療機関の機能分化・連携の促進による医療提供の効率化を図り、切れ目のない医療を提供する体制が求められています。最適な医療サービスはどこへアクセスすれば良いのか、救急の場合はどうすればよいかについて簡単な操作によりタイムリーな情報を提供することは、地域住民には必要なサービスです。

糖尿病を例にすると、厚生労働省「2007年国民健康・栄養調査国民健康・栄養調査」では、糖尿病が強く疑われる人約890万人、糖尿病の可能性が否定できない人約1320万人、合計すると約2210万人もの有病者が推計されており、有病者の多さから国民病とも呼ばれています。糖尿病の重篤化を回避する対策としては、重症化する前に、血糖値計や血圧計の測定データから発症や症状の程度を可視化し、自覚を促すことで、早期に検診や医療相談などの受診を行い、継続的な測定データを医師と共有することで、重篤化を防ぐことが可能と考えられます。このためには、血圧計や血糖値の測定データを利用者が簡単に、かつ、継続的に収集し、そのデータを医師と共有して、異常値を分析する仕組みが必要となります。体重計や万歩計などの健康機器は比較的無線技術を採用してきているものの、自宅で利用される医療機器の無線技術の採用や標準化は、これからといった段階です。

本プロジェクトでは、自宅で利用される血糖値計や血圧計の医療機器の無線技術の普及と標準化の整備を進めるため、携帯電話と医療機器を活用した、簡単にいつでもどこでも安心して安全に使える「ユビキタス慢性疾患サポートセンター事業」の構築を目指しサービス検証を行います。

2. ITCを活用した新しいサービス・ビジネスの概要

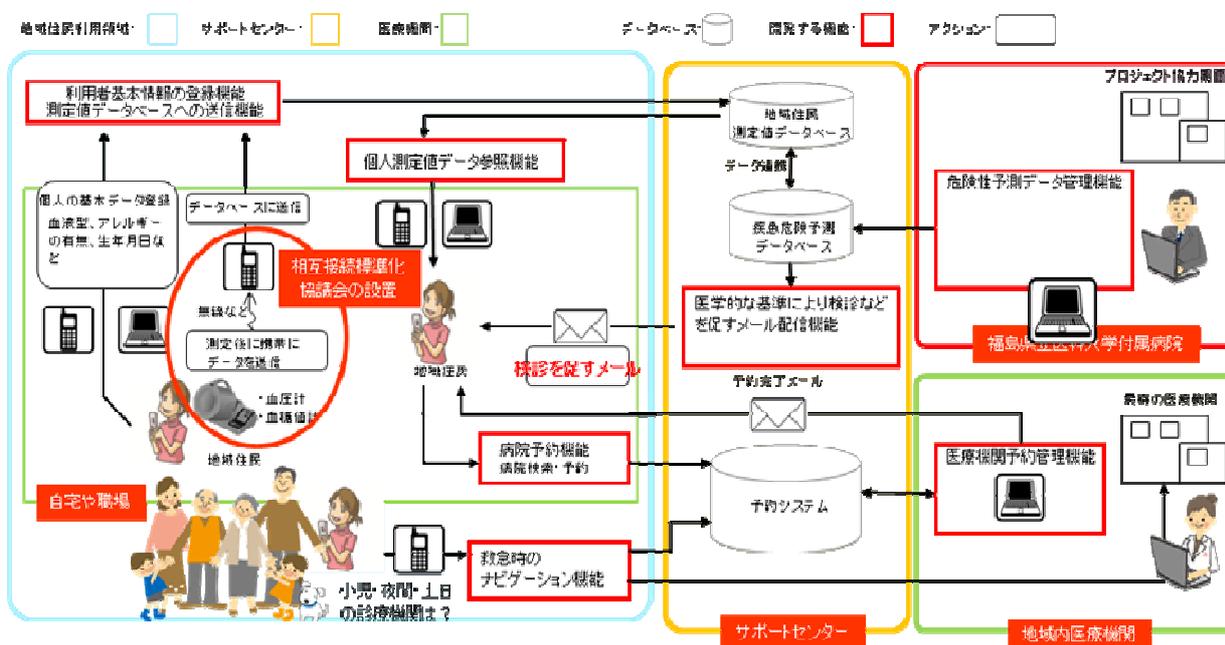
個人や家族の負担が大きく、そして医療費に占める治療費の割合が高い糖尿病の対策として、職場や自宅でも簡単にできる早期診断、重篤化回避を目指したユビキタス技術を活用した以下のサービスの構築と実証を行う。

- ①「血糖値計や血圧計の測定データを携帯電話を通じてセンターへ収集し、センターで医学的根拠に基づく疾患リスクを判断し、携帯電話メールで検診や医療相談などの受診を促すことで、自覚症状のない糖

尿病の進行をいち早く利用者に自覚させる「症状の見える化」を図る。

- ②「携帯電話の地図情報などを活用して最寄りの検診や医療相談のできる医療機関を検索するとともに、携帯電話で土日や深夜でも即時に診療予約までできるようにし、検診や医療相談などの受診の判断を遅らせないようにする。
- ③「継続的に収集された測定値を掛かりつけ医や連携病院と共有することで、重篤化を防いでゆく。また、休日や夜間の救急時の初期の対象法や受診できる医療機関を携帯電話上の地図情報で即時に表示させることで、地域医療サービスの向上と安全・安心社会の基盤を構築する。

3. サービスイメージ



4. 各社の役割

■BTD STUDIO株式会社

プロジェクト全体の統括管理、検証用システムの開発、現地検証業務を担当します。

■日本電信電話株式会社

現地検証において開発システムの導入及び実証の支援を担当します。

■株式会社日立コンサルティング

現地検証のデータを元にビジネスモデルの検証と評価を担当します。

☆会社概要☆

■■BTD STUDIO株式会社■■

本 社 所 在 地： 東京都港区西麻布2-20-17 レガート西麻布ビル B1,1F,2F,3F

設 立： 平成11年7月

資 本 金： 1億円 *平成21年5月末現在

事 業 内 容： ゲームコンテンツをメインとしたモバイルコンテンツの企画・
開発・運営、開発受託

U R L: <http://www.btdstudio.co.jp/>

お問い合わせ先： 担当:後藤

TEL:03-5766-6506 Mail:info@btdstudio.co.jp

以 上